

# 各部隊冬季訓練検閲



第770号  
令和3年3月18日

要望事項  
**必成**  
北方防衛

発行：北部方面総監部広報室



攻撃前進する90式戦車(第73戦車連隊)

**積雪寒冷地における  
部隊の練度を  
評価・判定**

各部隊は、道内各地の演習場等において、冬季訓練検閲を実施した。第2師団(師団長 富樫陸将)は、2月7日から14日までの間、上富良野演習場において、第3普通科連隊を基幹とする第3戦闘団に対して、師団の陣地防衛における先遣戦闘団の行動を検した。また、第7師団(師団長 中村陸将)は、1月29日から2月4日までの間、北海道大演習場において、第73戦車連隊を基幹とする第73戦闘団、第7偵察隊及び第7飛行隊に対して、師団の攻勢行動における各種行動を検した。更に、第5旅団(旅団長 廣惠陸将補)は、2月15日から22日までの間、然別演習場において、第6普通科連隊を基幹とする増強第6普通科連隊に対して、独立的に陣地攻撃する増強普通科連隊の行動を検した。

各訓練検閲には、受閲部隊以外にも、対抗部隊として多くの部隊が参加しており、各部隊が検閲の場を活用し、冬季における練成訓練を実施して、練度の向上を図った。それぞれの部隊は、積雪寒冷地における作戦遂行のノウハウ(DNA)を継承する唯一の方面隊である北部方面隊の部隊・隊員としての練度を発揮し、執念をもって与えられた任務を完了した。



航空偵察のため離陸するUH-1J(第7飛行隊)



スキー行進(第3普通科連隊)



敵防御陣地に攻撃する普通科隊員(第6普通科連隊)



偵察へ前進する軽雪上車(第7偵察隊)

第3施設団集中野営訓練



対戦車地雷の処理(第14施設群)



81式自走架柱橋通過車両の誘導(第13施設群)



プローブによる人命救助(第12施設群)

冬季の任務完遂能力を向上

第3施設団(団長 浅賀陸将補)は、2月15日から2月26日までの間、北海道大演習場等において団集中野営訓練を実施した。本訓練では、冬季における部隊行動等の練度向上を図ることを目的に、各種施設作業及び各種戦闘行動の練度向上を図った。また、災害派遣を想定し、生地において、救援物資の輸送、人命救助及び捜索要領を演練するとともに、中隊訓練検閲を実施して、訓練練度を評価するとともに、その進歩向上を促した。



長距離機動訓練(第303ダンプ車両中隊)



雪洞構築(第105施設器材隊)

第11旅団指揮所訓練

旅団の戦い方の検証

第11旅団(旅団長 酒井陸将補)は、3月1日から5日までの間、東千歳駐屯地及び真駒内駐屯地において、旅団指揮所訓練を実施した。旅団司令部及び旅団隷下各部隊は、指揮官の状況判断、幕僚活動の焦点の明確化、旅団司令部内及び隷下各部隊の情報の共有・連携等、有機的な指揮幕僚活動を主要演習項目に、指揮所訓練統裁支援システム(ICE)を活用し、旅団の陣地攻撃における指揮幕僚活動について演練した。本訓練を通じ、旅団の戦い方の検証を行い、今後の練成訓練等の資とした。



指揮官会議



旅団長に対する指揮官報告



幕僚間調整

各部隊冬季戦技競技会

部隊と個人の名誉をかけて激走

北部方面航空隊(隊長 森1佐)、北部方面後方支援隊(隊長 川村1佐)及び北部方面通信群(群長 鈴木1佐)は、それぞれ北海道大演習場において、冬季戦技競技会を実施した。北部方面航空隊は3月3日から5日に競技会を実施し、各部隊長による部隊長の部、各部隊選抜の部、抽選による部隊機動の部、抽選により選抜された隊員による個人機動の部及び総合の部(男性自衛官)40歳未満及び40歳以上)、女性自衛官)、アキオ曳の部及び総合の部で競われた。また、北部方面後方支援隊は、2月5日及び9日に競技会を実施し、部隊長選抜及び抽選により選抜された要員が参加して、個人機動の部(男性自衛官)40歳未満及び40歳以上)、女性自衛官)、アキオ曳の部及び総合の部で競われた。さらに、北部方面通信群は、1月21日、22日、25日及び26日に競技会を実施し、個人機動の部(男性自衛官)幹部、陸曹及び陸士)、女性自衛官、新渡道及び新隊員の部)と総合の部で競われた。参加した選手達は、北部方面隊の隊員として、持てる冬季戦技能力を遺憾なく発揮し、北部方面航空隊は北部方面航空野整備隊が、北部方面後方支援隊は第102弾薬大隊が、北部方面通信群は第101指揮通信大隊本部及び付隊が総合優勝を勝ち取った。



断郊走(北部方面航空隊)



アキオ曳航(北部方面航空隊)



アキオ曳行の部(北部方面後方支援隊)



個人機動の部(北部方面後方支援隊)



ゴール手前のラストスパート(北部方面通信群)



スタートダッシュ(北部方面通信群)

# 十勝岳噴火総合防災訓練

## 自治体と連携して災害に備える

第2師団(師団長 富樫陸将)は、2月17日及び18日の両日、上富良野駐屯地、美瑛町、上富良野町等において、十勝岳噴火総合防災訓練に参加した。本訓練は、十勝岳火山



関係機関との調整



関係機関との連携要領の確認



避難者の輸送

第2飛行隊が参加した。訓練に先立ち、2月1日から4日までの間、旭川駐屯地等において、十勝岳噴火災害指揮所演習を実施し、十勝岳の段階的噴火における期ごとの対処要領、自衛隊と自治体及び関係機関との連携要領、被災状況及び関係機関の状況に即する調整・命令・戦闘指導要領について確認・演練し、実動訓練の資を得た。実動訓練では、上川総合振興局内に師団調整所、上富良野町及び美瑛町役場に前方指揮所をそれぞれ開設し、関係機関と連携要領について演練するとともに、避難者の輸送、未避難者の確認、地上及び航空偵察、救助・救出、給食支援、航空機による火口監視等を実施した。これらの訓練等を通じ、十勝岳噴火災害対処計画の実効性向上を図るとともに、関係機関と連携した災害対処能力の向上を図った。

# バイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技協力

## 円滑な大会運営に協力

北部方面混成団(団長 岡本1佐)は、2月23日から3月7日までの間、真駒内射場地区においてバイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技協力を実施した。本協力には、団隷下の第52普通科連隊をはじめ、第7師団、第11旅団、第1特科団、第1高射特科団、北部方面後方支援隊、北部方面通信群及び北部方面衛生隊から所要の要員が参加し、大会の準備・撤収、競技の運営補助を実施した。今回で92回を数える宮様スキー大会は、バイアスロンのほか、ジャンプ、クロスカントリ、アルペン等の競技が行われ、昭和5年に開催された第1回大会から旧軍が大会運営に協力し、陸上自衛隊としても、昭和27年の北部方面隊創隊以来、同時期に開催される今年で57回を数えるバイアスロン日本選手権大会とともに、継続して協力している。また、昭和41年の第37回大会からバイアスロン競技が正式種目となつて以降、北部方面隊をはじめとする積雪地の各部隊、海空自衛隊の部隊が競技に参加している。



会場準備



銃の点検



射場での支援



競技を視察する前田総監

## 真に戦える遊撃隊員の証を胸に

# 冬季遊撃課程教育

北部方面混成団(団長 岡本1佐)は、1月11日から2月24日までの間、北海道大演習場、ニセコ演習場等において、冬季遊撃課程教育を実施した。本教育は、団隷下の冬季戦技教育隊(隊長 中塚1佐)が担任し、積雪地における遊撃行動に任ずる隊員として必要な知識及び技能を修得させるとともに、資質を涵養することを目的に、山岳スキー技術、雪中露営、雪崩遭難者救出法等の基礎訓練、冬季山地潜入訓練等の行動訓練及び各種状況下における戦闘行動を伴う数日間及び総合訓練を通じて、有事、真に戦える遊撃隊員を養成するものである。30名の隊員は、高いスキー技術とレンジャー隊員として培った技術・精神力で、積雪地の厳しい環境下で困難な任務を達成するとともに、慎重・大胆・没我協調「不撓不屈」の精神、状況判断能力及び基礎的な知識・技能を修得し、教育を修了した証として、中塚隊長から真新しい遊撃き章が授与され、一連の教育を修了した。



行動訓練(山地雪中機動)



総合訓練(潜入・潜在)

第207回

～心の健康相談室～  
人生に潤いを与える言葉

福は徴むべからず。  
喜神を養いて、以て福を召くの本となさんのみ。  
禍は避くべからず。  
殺機を去りて、以て禍に遠ざかる方となさんのみ。  
〔「菜根譚」前集・70〕

即ち「幸福は、求めて得られるものではない。常に楽しい気持ちをもって暮らすのが、幸福を呼び寄せる道である。災禍(さいか)は、避けようとして避けられるものではない。常に殺気立った心を取り去るようにするのが、不幸を避ける方法である」というのです。

つまり、これこそが心の持ち方で「福(さいわい)を招き・禍(わざわい)を避ける最良の心の処方箋」ではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本和雄



方面総監より代理伝達を受ける飛行隊長



方面総監(左)及び第5旅団長(右)と記念撮影

第5旅団(旅団長 廣 惠陸将補)隷下の第5飛行隊(隊長 原口2佐)は、1機当たり無事故飛行3000時間を達成した功績により、陸上幕僚長(湯浅陸将)から第2級賞状を授与された。1月26日、方面総監部

で行われた表彰式では、方面総監(前田陸将)から原口隊長に賞状が伝達された。第5飛行隊は、これからも無事故飛行を続けるため、安全に対する努力を続けていく。

航空機無事故  
陸上幕僚長表彰伝達式  
第5飛行隊が受賞



令和3年度自衛官等採用案内



Table with 4 columns: 種目 (Category), 資格 (Qualification), 受付期間(締切日必着) (Application Period), 試験期日 (Exam Dates). Rows include categories like 幹部候補生(一般), 医科・歯科幹部, 航空学生, 自衛官候補生, etc.

◇ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更となる可能性があります。  
◇ 試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)5882



函館地方協力本部  
0138(53)6241

令和2年度自衛官等採用業務にご理解頂き、改めて感謝申し上げます。この度、令和3年度の採用日程が発表となりました。自衛隊はご存じの通り、入隊間、自衛官としての知識・技能のみならず、社会人としての資質及び必要な礼儀やマナー等をしっかりと身に着けるべく教育・訓練に励み、退職後は地域社会で即戦力となる人材を育成しております。採用、人材育成、地域社会への還元というサイクルを維持するためにも、皆様からの情報は非常に重要です。引き続き、採用活動にご理解とご協力頂きますと、ともに、積極的な情報提供をお願いします。